

スポーツ基本計画部会（第 5 期）関係団体ヒアリング 書面回答様式

公益社団法人日本スポーツ・健康産業推進協会

1. 団体において取り組まれているスポーツ振興に向けた取組状況・成果
別紙

2. 現状団体において抱えられている課題

日常的にスポーツを行う人が持続的に増加し、その結果として個人の健康状態の維持・向上とスポーツを支える産業が発展していくことを推進することが当団体の基本的な使命で、この 2 点に関する国・自治体の施策や事業者の取り組みを共有することが具体的な活動となっています。スポーツ施設を運営する事業者団体としてフィットネス産業協会などが当団体に参画いただいています。今後は自治体のスポーツ施策・公共スポーツ施設との連携を強めるために、自治体のスポーツ施策担当部署などに参画いただくことを課題の一つとして考えています。

3. 第 4 期計画において期待すること

スポーツ活動を日常的に行う場を作っているのはフィットネスクラブなどの事業者で、その場を支えているのはトレーナー／インストラクターなどの指導者が中心となっています。日本は世界で最も少子高齢化が進む人口減少社会でスポーツ参加者を増やし、関連産業を拡大するためには、日常的なスポーツ活動の場（フィットネスクラブなど）を利用する人をより増やしていくことに他なりません。そのためには、経済的なインセンティブを含む、既存のスポーツ施設の利用促進に関する施策や多種多様な人たちが利用しやすい環境整備に向けた施策も期待できると考えています。

SPORTEC2025 Wellness Tokyo2025 開催報告



会期

2025年7月30日（水）～8月1日（金）

会場

東京ビッグサイト東展示棟4・5・6ホール

出展社数

523社（2024年 523社）

来場者数

42,380名（2024年 37,611名）



会期	2025年11月26日（水）～11月28日（金）
会場	東京ビッグサイト東展示棟 5 ホール
出展社数	271社（2025年 261社）
来場者数	20,394名（2024年 19,531名）

令和7年度 シンポジウム・情報交換会報告

■第1回シンポジウム

令和7年7月30日（水） 10:30-12:30

スポーツ庁創設10周年記念講演

会場：SPORTEC2025展示会場（東京ビッグサイト）

登壇者：室伏 広治 氏 スポーツ庁長官

境田 正樹 氏 TMI総合法律事務所 パートナー弁護士

（一社）日本スポーツ政策推進機構 常務理事 東京大学スポーツ先端科学連携研究機構 顧問

原田 宗彦 氏 早稲田大学 名誉教授 学校法人浪商学園 理事

（一社）日本スポーツツーリズム推進機構 会長

聴講料：無料

参加者数：120名

■第2回シンポジウム

令和7年7月30日（水） 13:00-14:30

日本の健康政策を知る、考える

会場：SPORTEC2025展示会場（東京ビッグサイト）

登壇者：河野 洋平 氏 厚生労働省健康・生活衛生局健康課 主査

澤田 京樹 氏 厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 計画課 課長補佐

小野 聡志 氏 経済産業省 商務・サービスグループ 企画官

中村 宇一 氏 スポーツ庁 健康スポーツ課 課長

樋口 毅 氏 健康長寿産業連合会 事務局長

聴講料：無料

参加者数：100名

令和7年度 シンポジウム・情報交換会報告

■第3回シンポジウム

令和7年7月30日（水） 15:00-16:30

健康経営の進化 - 人的資本の変革

会場：SPORTEC2025展示会場（東京ビッグサイト）

登壇者：平野 治 氏（特活）健康経営研究会 副理事長

河裾 淳子 氏 経済産業省 商務・サービスグループ ヘルスケア産業課 課長補佐

川上 紀子 氏（株）丸井グループ ウェルビーイング推進部 課長

樋口 毅 氏 健康経営会議実行委員会 事務局長

聴講料：無料

参加者数：112名

■第4回シンポジウム

令和7年11月27日（木） 11:00-12:30

未来をつくる女性の健康

会場：Wellness Tokyo2025展示会場（東京ビッグサイト）

登壇者：田村 好史 氏 マイウェルボディ協議会 代表幹事 順天堂大学国際教養学部 教授

スポーツロジセンター・センター長補佐 順天堂大学大学院医学研究科

スポーツ医学・スポーツロジ 教授、代謝内分泌内科学 教授

寺内 公一 氏 国立大学法人 東京科学大学大学院医歯学総合研究科 茨城県地域産科婦人科学講座（寄附講座）教授

藤戸 まり子 氏 花王（株） 人財戦略部門 健康開発推進部 産業医

平田 有美恵 氏 厚生労働省 健康・生活衛生局 健康課 女性の健康推進室長

聴講料：無料

参加者数：56名

令和7年度 シンポジウム・情報交換会報告

■第5回シンポジウム

令和7年11月28日（木） 11:00-12:30

「新！女性の体力資本改革」- ライフパフォーマンスに必須となる運動のちから -

会場：Wellness Tokyo2025展示会場（東京ビッグサイト）

登壇者：中山 正剛 氏 スポーツ庁 健康スポーツ課 専門職

松田 貴雄 氏 独立行政法人国立病院機構 西別府病院スポーツ医学センター センター長、
順天堂大学 医学部産婦人科学講座 客員教授

樋口 毅 氏 （公社）日本スポーツ・健康産業推進協会 経営戦略部会長 聴講料：無料

参加者数：26名



国際スポーツ&ウェルネスウィークエンド表彰式 開催報告

世界190ヶ国が参加する、ウェルネス・ウェルビーイングなライフスタイルを啓発する世界最大の健幸祭
国際スポーツ&ウェルネスウィークエンド2025（8th World Wellness Weekend）
2025年9月19日（金）～21日（日）開催

世界187ヶ国、10,000会場以上でウェルネス体験が実施され、日本でも200名以上の
エリアアンバサダーのもと、約500会場でウェルネス体験が提供。

事例発表とともに、ウェルネスを通じた「健康まちづくり」「地方創生」「インバウンド」へと
繋げる具体的な施策について情報交換を行った。WWW2025において、地域のウェルネス啓発に
多大なる影響を及ぼされた方を「ウェルネスチャンピオン」として表彰する。

Wellness Tokyo内特設会場にて表彰式とシンポジウムを開催。



国際スポーツ & ウェルネスウィークエンド表彰式 開催報告

WWW2025ウェルネスチャンピオン受賞者 一覧

■大賞

神奈川県 若林貴久 (TAKA)—11会場37イベント 7,521人

■特別大賞

東京都 MOST ACTIVE CITY IN THE WORLD—170会場で世界最多

■優秀賞

全国 ミズノスポーツサービス—55会場94イベント 1,332人

静岡県 浜松市ウェルネス推進事業本部—5会場28イベント 2,196人

佐賀県 唐津ヨガフェス—3会場15イベント 3,000人

■特別奨励賞

東京都 Corporate Fitness & Wellness Tokyo—1会場6イベント 195人

東京都 Shibuya Wellness N style—1会場9イベント 110人

■特別賞

全国 株式会社ルネサンス—145会場 11イベント 881人

静岡県 Well-being SHIMADA実行委員会—3会場6イベント 1,000人

オンライン 株式会社ブラボーグループ—13イベント 1,153人

国際スポーツ&ウェルネスウィークエンド表彰式 開催報告

■ 奨励賞

北海道	東川町—2会場6イベント	118人
北海道	奈井江町地域おこし協力隊—1会場1イベント	100人
東京都	心もうるおす管理栄養士—伊達友美さん	1会場4イベント 130人
東京都	仲井果菜子—1会場10イベント	120人
福井県	NPO法人生涯体育学習振興機構—1会場3イベント	150人
愛知県	株式会社ウェルシス—3会場3イベント	279人
三重県	ウエストスポーツクラブ—4会場6イベント	150人
徳島県	株式会社リレイズ—1会場1イベント	500人
宮崎県	パワーハウスジム宮崎—1会場9イベント	156人



国際スポーツ&ウェルネスウィークエンド表彰式 開催報告

◎ウェルネスチャンピオン

岩手県	Wellness Place@慶寿庵—2会場5イベント	50人
新潟県	フィットネスダンスで健康づくり—2会場3イベント	73人
石川県	石井理子（NORIKO）さん—1会場4イベント	80人
東京都	フィットネスクラブ広尾—1会場5イベント	63人
千葉県	市川PARADICE—1会場2イベント	60人
千葉県	千葉フィットネスコミュニティ—1会場1イベント	97人
神奈川県	アクアダイナミックス—3会場3イベント	65人
愛知県	NPO法人健康支援エクスサイズ協会—2会場4イベント	57人
長野県	菅平スポーツフィジカルセラピー協議会—1会場3イベント	35人
静岡県	コンディショニングコーチ 柏原大真—1会場1イベント	70人
静岡県	THINK&RUN—3会場3イベント	75人
大阪府	HIRAKAWA CORP.—2会場2イベント	72人
京都府	京Spa 5—1会場4イベント	6人
広島県	マリエフィットネスクラブ—1会場1イベント	65人
山口県	サンテココア—2会場2イベント	74人
愛媛県	Non and Billy—3会場3イベント	5人
福岡県	パラディソ&10分ランチフィットネス—7会場14イベント	68人

第13回スポーツ振興賞開催報告

応募総数 41 件の作品の中から最も優れた作品に「スポーツ振興大賞」を、優れた作品に「スポーツ振興賞」として、スポーツ庁長官賞、観光庁長官賞、経済産業省商務・サービス審議官賞、日本商工会議所奨励賞、日本スポーツツーリズム推進機構会長賞、日本スポーツ・健康産業推進協会会長賞の6点を選定し Wellness Tokyo内特設会場にて授賞式を開催



第13回スポーツ振興賞開催報告

○公益社団法人日本スポーツ・健康産業推進協会 会長賞

作品名：～経済効果から社会的効果へ～

沖縄県の取り組む「スポーツコンベンション2.0」

応募者：一般社団法人沖縄スポーツ関連産業協会（沖縄県豊見城市）

